2009年10月9日（毎月18回1・3・5・6・7・9の日）　通刊5758号　　1983年7月19日　第3種郵便物許可　頒価50円（1）

第11号

SSTK

さくら草だより

発行人　埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0011　川口市元郷1-10-13
電話　048-225-1625

編集人　社会福祉法人さくら草
〒336-0015　さいたま市南区太田窪3501-2
電話　048-813-7426　Fax 048-886-6301
HP　http://www.sakuraso.net/
E-mail　sakuraso@www2.kiy.jp

住所・連絡先は、法人と同じ上記になります。

初おめみえ♪「アシスト　さくら草」です

アシストさくら草は、「サポート　ゆず」や「サポート　さくら草」と同じヘルパーステーションです。

他と少し違うのは、利用者さんの半数以上が「デイセンター　さくら草」の方、ということ。

デイ後のカラオケ・ボウリング・夕食のお出かけや、土・日のお出かけ等（お台場・池袋・銀座・ディズニーへも！）、スタッフも一緒に楽しんでいます。

- ✿　登録利用者　　60名
- ✿　スタッフ　　46名
- ✿　移動支援・生活サポート・居宅介護・行動援護　等

月1300時間程やってま～す

「パソコンも介護もちょっとずつでゴメンネ」ネコ大好き②　中野さん

「明るく元気に楽しく♪」がモットー　アシストのお局役　一之瀬さん

「コーディネイトは私にお任せ！」ネコ大好き　八木さん

「言われた事はしっかり、きっちり」　みんなの兄貴　大口さん

新利用者からのひとこと

鈴木　裕大
はじめまして…大好きな"さくら草"順調に通所できていたのに、脱水で入院になっちゃいました。でももう大丈夫！　また仲良くしてくださいね。

野口　愛香
三ヵ月半かかりましたが、入院して、てんかんの薬調整をしたおかげで、以前よりも元気になり、さくら草での毎日を楽しめるようになりました。

おまつり

日時　：　10月24日(土)　　10:30～15:00
場所　：　デイセンター　さくら草
さいたま市南区太田窪3501－2
（南浦和駅より、柳崎循環行きのバスにて10分
円正寺下車、華屋与兵衛　向かい）
模擬店・体験コーナーなどを予定しています

みなさん、是非遊びに来てください！

お知らせ　：　『さくら草だより』は、デイセンター利用者が、折り～封入までを担当し、提供しております。

新職員紹介

↑　左から冨田看護師、関口職員。

さくら草のある日常

みのり班では悟さんがお世話になった学校の先生と何十年ぶりぐらいの再会がありました。後日、悟さんの３０年前の音声テープが届き、「パパ。」「ママ。」「歌って♪」と、幼い頃のかわいらしい声が流れ、悟さんの小さい頃を想像しながら聞いていました。悟さんも懐かしい想い出がよみがえってきたかなぁ～。また、３０年経ったらどのように変わるのか楽しみです。

（みのり班職員：富田）

新職員あいさつ

２月よりデイセンターの仲間入りをしました。趣味は旅行と美味しいものを食べることです。大学生と高校生の子供がいます。

今まで総合病院・地域の診療所・訪問看護ステーション在宅介護支援センターなどいろいろな所で、看護や福祉制度について学んできました。

子育てと今までの体験を生かして皆さんのお役に少しでもたてたら幸いです。

これからもどうぞ よろしくお願いします。

（冨田　和子）

６月より、さくら草の職員になりました関口　佳子と申します。

今は懐かしい、白幡のさくら草へ、以前、勤めておりました。ですので、懐かしいお顔もたくさん･･･。

この度、嬉しい事に、またご縁があり十数年ぶりに新しく、そして大きくなったさくら草に戻ってきてまだ慣れずに、戸惑うことも多いのですが、皆様の笑顔に支えられ毎日楽しくさくら草に通わさせていただいています。

『利用者の主体性を大切に、思いを実現する支援を行うこと』という、さくら草が昔から大事にしている私の大好きな理念。これを実現していく為の力をもっとつけていく事。これを、私自身の課題に、頑張って行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。　（関口）

＜活動報告＞　（２１年　５月　９日～２１年　８月　３１日）

５月　２９日	ボラ音楽交流会	６月　１１日	防災訓練
７月　　８日	ボラ音楽ライヴ	７月　１３日～	中高大学生実習生受入開始
７月　１８日	地域祭出店	７月　２１日～	サマーボラ受入開始
８月　２２日	理事会	８月　２３日	とまと集中

健康診断―年２回　ヘアカット（理・美容）　通院介助　体重測定―毎月　誕生会―各誕生月
音楽療法―月１回　アロマセラピー―月２回　みんなのアトリエ―月１回　趣味の日―月１回～
静的弛緩誘導法訓練会参加―月１回　陶芸―週１回　保護者会―月１回　ボラ音楽交流会年７・８回　授産品せっけん教室－月１回　やってみよう会－月１・２回

2009年10月9日(毎月18回1・3・5・6・7・9の日)　通刊　5758号　1983年7月19日　第3種郵便物許可　頒価50円(3)

サポートさくら草

～来年までさようなら～

夏になるとサポートさくら草に出現するプール。

今年もた～くさんの子供が、た～くさん遊びました。

プールで新しいお友達も出来ました。

水鉄砲をバシュバシュ打ったり、

象さんのジョウロで水をかけっこしたり。

大きなテントの下の、大きな子供プール。

とってもとっても楽しかった！

サポートのプールは温水プール。

水が温かすぎて、露天風呂になる日もしばしば。

お盆を浮かべて、トックリとオチョコ？

いやいや、麦茶やジュースを乗せたいね。

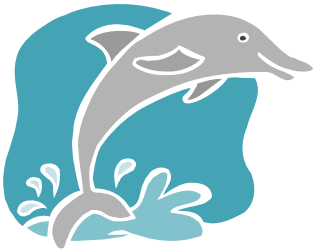
プールの中は、体がとっても自由になるから大好き。

バタ足だって大得意です。

どんどん泳いで、一人で端から端までいけるよ！

みんなの大好きなさくら草プール。

今年はおしまい。



来年までさようならです。来年もたくさん遊ぼうね！

南区障がい者生活支援センター

あみ～ご

☆こんな障害知っていますか?シリーズ①　✎高次脳機能障害☆

高次脳機能障害は、交通事故や病気で脳に損傷を受けることで起こります。

◆記憶の障害
　今日の日付や自分のいる場所がわからない、人やものの名前が覚えられない
◆注意の障害
　気が散りやすい、1度に2つのことをしようとすると混乱する
◆遂行機能の障害
　ものごとの優先順位が付けられない、指示がないと活動できない
◆社会的行動の障害
　すぐ怒ったり笑ったり、感情のコントロールができない、人に頼りがちになる

などなどが、その症状として現れます。

目に見えないので、ご本人・ご家族ともに気付きにくい障害で、まずは専門医の受診が必要になります。
いろいろな福祉サービスや制度を利用できる場合もありますので、ご相談ください。

あみ～ごの夏は
大輪のひまわりとともにすぎてゆきました…

<あみ～ご脳トレ>

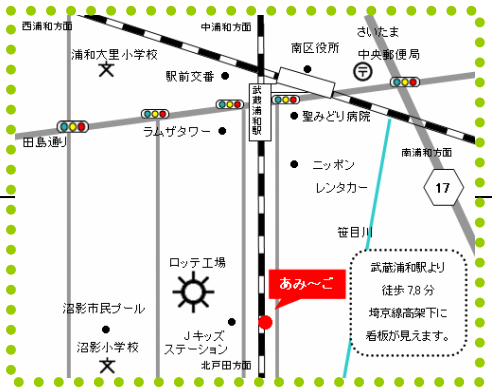
～これは、正解のないクイズです～

①かがみがないときはどうやって身づくろいを整えますか?
②知らない町で道に迷ったらどうしますか?
③電車で女の人におこられましたがなんのことかわかりませんどうしますか?
④待合室で名前が呼ばれず、診察が受けれませんどうしますか?
⑤横断歩道の前で止まっていると、いきなり押されましたどうしますか?

A お礼を言う　B 通る人に声をかける　D 携帯電話を使う　E 交番に行く　F 無視する
G 怒って帰る　H 走ってにげる　I メモ帳とえんぴつを使う　J　コンビニにゆく

回答例　⑤A・・視覚障害の方のエピソード。
　　では、①D　②I　③H　④A　とのお答えには
　　どんなエピソードがあると思いますか?

〒336-0022
さいたま市南区白幡5-11-16
電話・FAX　048-866-5098
相談受付　月～金 10:00～17:30



2009年10月9日（毎月18回1・3・5・6・7・9の日）　通刊5758号　　1983年7月19日　第3種郵便物認可　頒価50円（5）

サポートゆず

ゆずヘルパー紹介パートⅠ

以前サポートゆずの職員を紹介させていただきました。
今回は、ゆずを支えているヘルパーの皆さんを紹介させていただきます。
それではスタートです！

1. 名前
2. 血液型
3. 趣味
4. マイブーム
5. ひとこと
6. 自慢話

1. 木村 文子
2. A
3. 水泳
4. ダイエット
5. ゆずの皆は、優しくて大好きです。
6. ゴールド免許

1. 宮川 雅美
2. O
3. 水泳・スーパーの底値チェック
4. パソコンゲーム
5. ゆずの子どもたちは皆かわいくて、ヘルパーさんたちはみんな優しいです。
6. 料理関係の仕事をしていたので、料理全般、パン・菓子すべてテキストがあれば作れます。

1. 川渕 美奈子
2. A
3. 園芸
   プリザーブドフラワー
4. 韓流ドラマ
5. ゆずで働けることが生きがい♡
6. 人間カーナビ
   (知らないところでもスムーズに行けること)

1. 増田 恭造
2. B
3. 釣り・陶芸
4. マイカップの芋酎割り
5. 老いてなほ
   艶というべきものありや
   花ははじめも
   おわりもよろし
6. ゆずでのチョイワル爺ヤ

1. 竹内 博志
2. A
3. パンフルート
4. 薬(やく)
   (高脂血症薬変更３回目)
5. 身体の動く限りヘルパーを続けたい。
6. 合唱・朗読の仲間である年上の女性にモテモテ。

1. 西村 和子
2. B
3. テニス
4. 節約
5. ゆずで働くのは楽しい！
6. 娘が夕飯を作ってくれるようになったこと。

1. 吉川 由里子
2. B
3. 茶
4. ドリトル先生
5. ゆずは気が楽なところです
6. 意外に腕力

1. 間中 幸江
2. B
3. 遊ぶ事ならな～んでも。
4. 半身浴
   なるべく水をたくさん飲む
5. 健康でいつまでも若々しくいたい。
6. この夏プールで日焼けまっ黒で～す！

後援会清算残預金のご寄付を受けて

社会福祉法人さくら草後援会は、平成20年5月に解散しました。その清算が終わり、残預金を法人にご寄付いただきました。ここに感謝を申し上げ、ご報告と致します。

さくら草の歩みは、重度の障がい者を持つ親の会「さくら草の会」が、昭和61年10月に、埼京線武蔵浦和駅近くの高架下に開設した小規模作業所から始まっています。卒業を控え、学校で育んだ社会性や仲間との交流をなくしたくない。卒業後にも社会参加する拠点がほしいと通所施設を市に要望し開設したものです。

運営は、親の会が担い、古紙回収やお米の販売、バザーやコンサートで汗を流して行ってきました。介助に人手が多く必要で、市の事業である(現デイケア施設)の補助金では、運営は厳しいものでした。

ただ、小規模ゆえの自由度があり、ボランティアを募集し2泊3日の旅行に毎年行ったり、利用者のアフターファイブの外出や緊急対応など型にはまらない取り組みを積極的に行うことができました。

認可施設に向けた運動は、施設運営の厳しさと親亡き後の不安から始まりました。デイケア施設開設10年余、毎年利用者が増え手狭になり、大勢の車椅子の方がワンフロアーで、食事、排泄、陶芸作業、健康プログラムを行っている状況でした。

親の高齢化と片親家庭が半数近くになり、資金活動が大変になってきました。運営の安定のために認可施設づくりが求められました。親亡き後の心配もでてきました。地域生活を望んでいたので、せめてグループホームを建てたいという希望がありました。

認可施設づくりために
ご寄付いただいた方々の記銘板を作成しました

そこで、さくら草の会社会福祉法人設立準備会を平成13年9月に立ち上げ、認可施設づくりに向けた取り組みを開始しました。デイセンターさくら草利用者の保護者「さくら草の会」、就学前の児童を抱えている保護者、養護学校に通わせている保護者、ボランティアさんと、一時 120人余が思いを一つにして集ってくれました。

無から有を産み出す先の見えない運動は、保護者の方々には大変な苦労がありました。

準備会では、創りたい施設の話し合いや制度の学習はもとより、バザーやお米やお茶などの物品販売、コンサートのチケット売りを行いました。職員も チケット売りに、仕事を終えてからカラオケ屋さんやスナック廻りをしたこともありました。さくら草どおりで街頭募金も行いました。 建設資金作りの運動は、普段できない、面白い体験でした。心温まる出会いとつながりが生まれました。

平成18年4月南区太田窪に、さいたま市のご尽力もあり認可施設「デイセンターさくら草」の開設に至りました。 まさに現さくら草は、利用者・保護者の願い、ボランティアはじめ市民の思いが形になったものです。

当初の約束では、認可施設を立ち上げたら、「親の会」を卒業しようと話していました。開設年に自立支援法が施行され、施設の給付費は日額制度となりました。そのため、大変厳しい運営を強いられ、「準備会」を「後援会」に切り替え施設運営を支えるしかありませんでした。幸い、翌年には、利用者が増え、なんとか運営が軌道に乗りました。

平成20年春には後援会を解散し、保護者の方には肩の荷を降ろしてもらうことができました。

さくら草は、地域福祉に向けて、新たな社会資源づくりをしていきますが、今後の事業展開は、保護者にご苦労かけないで法人が担っていきます。

「後援会」の当初の目的は終えましたが、障がいをもつ方の豊かな地域生活を支える制度はまだまだ未整備です。今後とも地域の方々と手を携え、障がいを持つ方々の支援を通して、誰もが暮らしやすい街づくりをめざしていきます。

後援会員の皆々様に大変なご努力にねぎらいと感謝を重ねて申し上げますとともに、大勢の方々に、有形無形のご支援を賜っておりますことをここに御礼申し上げご寄付のご報告といたします。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

社会福祉法人さくら草　本部長　山本　宏

編集後記

夏がみんなの想いを包んでいった。ヒグラシの声を思い出してください。広報 第11号。 (N)